

Zoom オンライン

栄養サミットと日本が果たす役割

2022年6月3日(金) 19:10~20:55

2021年12月、東京で栄養サミットが開催され、日本政府として今後3年間で栄養不足の解消のため3000億円の支援をすると表明した。採択された「東京栄養宣言」では「2030年までにあらゆる形態の栄養不良を終わらせるために、健康、食、強靭性、説明責任、財源の5つのテーマ別分野にわたって栄養に関する更なる行動を取る」と宣言された。この公約を活かし、紛争地や脆弱国家における飢餓や貧困の削減のために、日本はどんな役割を果たせるのか。最前線で奮闘する人たちと議論を深め、具体的方策を探っていく。

冒頭挨拶

岡田 隆

(上智大学教授・学術研究担当副学長)

講演 1

「日本が世界の貧困・飢餓の解消に向け努力する意味」

黄川田 仁志

(国際人口問題議員懇談会事務総長・内閣府副大臣)

講演 2

「WFPの活動と、栄養サミットの意義や課題」

焼家 直絵

(国連WFP日本事務所代表)

講演 3

「中村哲医師の遺志を継いで：

アフガン人道危機に対し取り組んでいること」

村上 優

(ペシャワール会会長・PMS(Peace Medical Services) 総院長)

藤田 千代子

(ペシャワール会理事・PMS支援室長)

講演 4

「人間の安全保障と飢餓 ～人道危機と日本の役割～」

東 大作

(上智大学グローバル教育センター教授)

司会



黄川田 仁志



焼家 直絵



村上 優



藤田 千代子

無料・要事前登録

(どなたでも参加できます)

登録いただいたメールアドレス宛に

Zoomアクセス情報をイベント前日に送付いたします。

視聴にかかる通信費等は視聴する方の負担となります。



岡田 隆



東 大作